

政策4 「まち」に活力を生む (産業・経済・雇用)

施策 19 工業

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

めざす姿

○既存産業の経営力や競争力が向上するとともに、新たな産業が振興するなど、活発な企業活動が行われています。

現状・課題

(1)社会の変化と対応力の強化

製造業を取り巻く環境は、ロシアによるウクライナ侵攻、新型コロナウイルス感染症拡大によるサプライチェーンの分断や燃料・原材料価格の高騰といった予測困難な事象が相次いでおり、企業は社会変化への対応力を求められています。

(2)デジタルトランスフォーメーションの推進

製造業におけるDXは、製造工程におけるエンジニアリングチェーンとサプライチェーンの各所に变革をもたらします。ベテラン技術者の高齢化により人材が不足する中、生産力向上のためにも企業のDX推進が求められています。

(3)企業競争力を高める製品の付加価値の向上

本市の製造業は、鎌倉末期から始まる刃物産業と、自動車関連部品製造業、機械器具製造業、金属製品製造業、化学工業製品製造業などの企業が立地する複合的な産業構造を形成しています。多様なものづくりのまち関市のブランド力を高めるとともに製品の付加価値を向上させる取組が求められています。

(4)中小企業の後継者問題への対応

経営者の高齢化が進む中、後継者不足が課題になっています。市内事業所の約6割は従業員4人以下の小規模な事業所であることから、事業承継が進まない状況にあります。


(5)企業の事業拡大や新規参入への支援

本市に居住し、働き続ける若い世代の増加を図ることが課題になっています。市外の事業所で働いていた人や、新規に採用される人の転入を促進するために、企業誘致を積極的に進める必要があります。

成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
工業の満足度(アンケート結果)	88.3% (2022)	UP
ビジネスプラス展でのビジネスマッチング数(ビジネスプラス展での商談件数)	83件 (2022)	100件
工場の新設・増設数(工場等設置奨励金交付企業数)	34社 (2021)	50社

取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	中小企業の競争力を強化します。	● ● ●	国内・海外見本市の出展支援 ◇ DX総合支援 ◇ ものづくり脱炭素経営促進(補助金交付・利子補給)
	企業のビジネスチャンスの機会創出とブランド化を図ります。	●● ●●	ビジネスプラス展の開催 工場参観日の開催
	刃物産業等の後継者を育成します。	●● ●● ● ● ●●	刃物産地のPR 刃物セミナーの開催 刃物産業連合会への支援 ◇ 事業承継支援 卓越技能者表彰
	新規企業の誘致や市内事業所の拡大につながる工業用地を確保します。	● ● ● ●	工業団地支援(関工業団地、関テクノハイランド) 新たな工業用地の検討 企業立地奨励金の交付 ◇ 工BANK(民間土地の情報収集)

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



関の工場参観日

関連計画

なし

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

めざす姿

○魅力ある商店が増え、賑わいやふれあいを創出する商業環境が整っています。

現状・課題

(1)地域のコミュニティを担う商業の推進

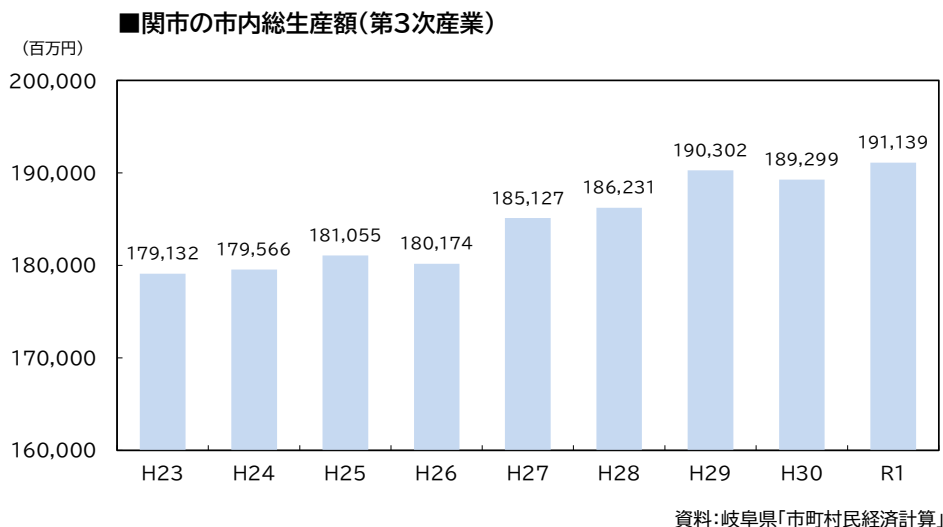
モノ消費からコト消費への変化、買い物弱者への対応、安全で安心できる買い物環境など、地域の商業には人との絆が重要です。人とのつながりを大切に、まちづくりに積極的に参画する地域のコミュニティの担い手として、地域の商業は注目されています。

(2)商業へのチャレンジの場としての市場

中濃公設地方卸売市場は、大規模店舗の参入などにより市場の主な取引相手である小売店が減少し、厳しい経営環境を余儀なくされています。市場の設置目的である日常生活に欠くことのできない生鮮食料品を安定供給する市場本来の役割のほかに、商業へのチャレンジの場としての活用が期待されています。

(3)多様化する消費者被害への対応


成人年齢の引き下げ、高齢化の進展、情報サービスの選択肢拡大により、消費者被害もより多様化しています。消費トラブルに対応するとともに、若年層から高齢者までのライフステージに応じ、消費者被害に遭わないよう周知啓発を徹底する必要があります。



成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
商業の満足度(アンケート結果)	87.0% (2022)	UP
商業者数(主な経済団体への登録者数)	838人 (2022)	850人

取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
 商店及び商業団体への支援を通じて、市内商業の活性化を図ります。		●	商工会議所及び商工会の活動支援
		●	せき商連の活動支援
		●	本町通商店街連合会の活動支援
		●	中心市街地活性化支援(空き店舗活用、活性化イベント等)
		●	まちかど工房の活動支援
		○	ビジネスコンパ事業
		●	○ 創業者店舗賃料支援
	卸売市場の運営を強化します。	●	◇ 付属店への付属営業人の招致 ◇ 市場活性化イベントによる賑わい創出 ◇ 市場の一般開放
	消費生活に関わる不当な契約、悪質な商法の排除を促進します。		消費生活相談 出前講座等による消費者教育、啓発活動

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



子どもミュージアム商店街

関連計画

なし

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

施策 21 経済・雇用



めざす姿

- 市内企業の付加価値や労働生産性が高まることで、市民所得の向上や消費の拡大が促進され、地域経済が良好に循環しています。
- 雇用環境が安定し、若者や女性、高齢者など多様な人材の雇用機会が創出されています。

現状・課題

(1) 地域経済の好循環を生むビジネス支援

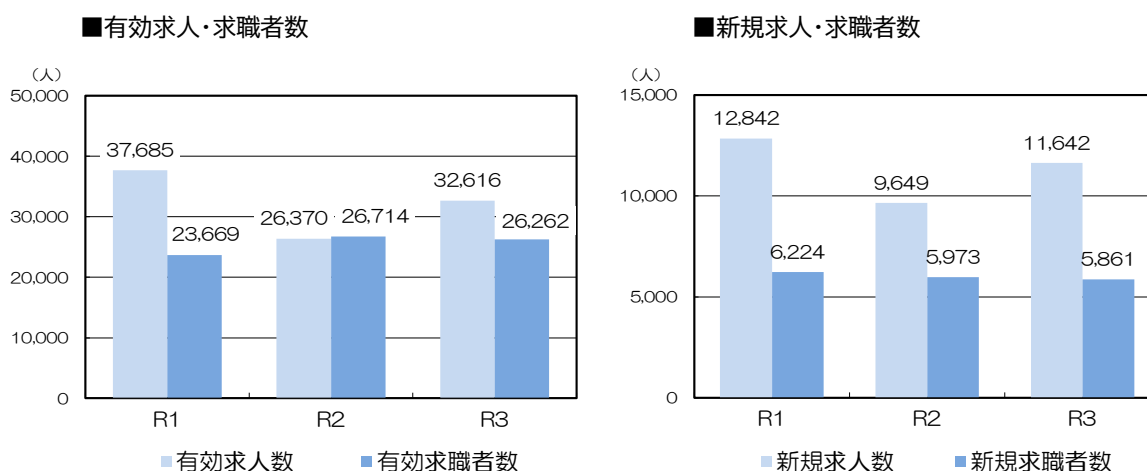
地域内で得た所得は地域内で消費され、地域外で獲得した所得が地域内で消費されることで経済の好循環につながります。そのため、市民の所得向上につながる企業の業績アップや起業・創業を後押しし、地域内を魅力的な消費の場にするビジネス支援が求められています。

(2) 雇用のミスマッチの解消

新型コロナウイルス感染症の拡大により暗転した雇用情勢も順調に回復基調にあります。一方で、求人が多い職種には人が集まらないミスマッチが生じています。市内企業に若者の就職と定住を促すために、情報提供やインターンシップなど、企業や関係機関との連携による雇用への取組が求められています。

(3) 働き方改革

少子化が進み、労働力の確保が困難になっていく中で、女性や高齢者の積極的な社会進出が求められています。企業の就労環境の改善のほか、テレワークなどDXによる新しい働き方の導入やワーク・ライフ・バランスの推進など、誰もが働きやすい環境を創出する必要があります。



資料: 商工課

後期基本計画

施策 1

施策 2

施策 3

施策 4

施策 5



施策 6

施策 7

成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
経済・雇用の満足度(アンケート結果)	86.2% (2022)	UP
Seki-Biz 相談件数(関市ビジネスサポートセンターへの相談件数)	1,465 件 (2021)	1,600 件
高校生の市内企業就職率(関市の工業)	44.4% (2021)	45.0%
納税義務者1人当たり課税対象所得(市税概要・所得者区分:給与及び営業等)	3,204 千円 (2022)	UP

取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	市内企業の経営力の向上、起業及び創業への支援を行います。	● ● ●	関市ビジネスサポートセンターの運営 創業応援事業(クラウドファンディング等) 起業・創業セミナーの実施
	中小企業の経営のために必要な資金の融資を斡旋し、利子の一部を補助します。		中小企業設備資金利子補給 信用保証料補給
	企業の人材確保や求職者の就職活動支援を通じて、市内への就労・就業を促進します。	●● ●● ● ● ●	◇ みんなの就職サポートセンター(女性、学生等の就職支援)運営 多様な働き方制度の導入など企業の雇用の安定に向けた取組の促進、周知 関市雇用促進協議会の活動支援 内職相談の実施 外国人研修生の受入れ補助
	企業の就労環境の改善及び勤労者の福利厚生活動を支援します。	●	アピセ・関の運営・利用促進 関市勤労会館の運営・利用促進 誰もが働きやすい就労環境づくりへの支援

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



セキビズ

関連計画

なし

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

めざす姿

○観光地としての魅力が高まり、交流人口が増加するとともに地域経済が活性化しています。

現状・課題

(1)効果的な情報発信

近年、情報ツールが多様化し、また世代による利用ツールの違いも大きくなっています。本市の観光情報の発信についてもターゲットを明確にし、効果的に実施していく必要があります。

(2)せきてらすの活用

令和3(2021)年に、本市の観光・産業の情報発信の拠点施設として「せきてらす」が開館しました。引き続き「せきてらす」のハード及びソフト面を充実させることで、市内観光を促進させることが求められています。

(3)近隣市との連携強化・観光消費額の向上

本市を含む長良川流域が国際的な認証団体から令和3(2021)年「世界の持続可能な観光地100選」に選出されました。このことを踏まえ、これまで以上に岐阜市・美濃市・郡上市との連携強化を図ることが重要となります。

(4)水辺の利活用

本市には、小瀬鵜飼や豊かな自然など魅力ある観光コンテンツが豊富にあります。長良川や板取川の河畔利活用は、地元住民の意向を確認しながら、河川管理者である岐阜県と検討していくことが必要です。

(5)観光振興のための連携強化

旅行に関するマーケティング、旅行商品や土産品開発における関係機関とのコーディネートなど、本市の観光PRを総合的に担う組織として、一般社団法人関市観光協会を支援し、連携を強化していく必要があります。



せきてらす





長良川河畔

成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
観光の満足度(アンケート結果)	81.8% (2022)	UP
市内全域の観光入込客数(観光入込客数)	2,516 千人 (2021)	3,196 千人

取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	戦略的な情報発信と情報拡散の仕掛けをつくりま す。	● ●● ●●● ●●●●	ホームページ、パンフレット、SNSの活用 ◇ 近隣市と連携した都市部などでのPR活動、観光物産展 ◇ 商品開発等PR事業 ○ 映像作品撮影支援
	市内観光地へ周遊する観 光拠点として「せきてらす」 の魅力向上を図ります。	●	○ 官民連携による飲食施設の整備 ◇ 刃物など地域の特性を生かした体験メニューの提供 ◇ 市民及び市内事業者による活用促進
	観光客の滞在時間及び観 光消費額を増やすための 着地型観光を推進します。	● ●● ●●● ●●●● ●●●●●	◇ 近隣市と連携した商品開発(周遊ルート・体験メニ ュー・土産品・グルメ) インバウンド対策 ○ 交流人口のデータベース化とマーケティング(DX活用) ○ 子ども観光ガイドの育成 ◇ 市民を対象とした魅力再発見事業(アウトドアイベント等) ○ 「世界の持続可能な観光地 100 選」のPR
	地域の特性を生かした観光 資源の活用を図ります。	●● ●●● ●●●● ●●●●●	◇ 関鍛冶伝承館、温泉、道の駅などの施設活用推進 ○ 関鍛冶伝承館のリニューアル ○ 日本刀とアニメの企画展 刀剣、鶺鴒、自然、アウトドアレジャー(キャンプ場、RV パーク等)などの資源活用 ○ ミズベリング事業の検討
	様々な観光関係者の連携 を強化し、観光振興の推進 体制の基盤をつくりま す。	●● ●	観光に関わる人材の育成 観光協会の機能強化(効果的な商談会の活用等)

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

関連計画

○関市立地適正化計画(2017~2035)



めざす姿

○適正に管理された農地において安全安心な農産物が生産され、安定的に農業が営まれています。

現状・課題

(1) 農業経営の安定化

農作物の鳥獣被害が増加していることから、被害状況を確認し、適切な対策を講じる必要があります。

(2) 農業の担い手確保

農業従事者の減少は引き続き大きな課題となっており、継続的に担い手や経営体の育成を図っていく必要があります。また、農業分野における労働力不足の解消や消費者ニーズに基づく効率的な営農を目指すため、AIやICTなどデジタル技術を活用することが重要です。

(3) どぶろく特区の対象地域拡大

平成 30(2018)年に認定を受けた「どぶろく特区」の対象地域が、令和3(2021)年度に旧関地域から市全域へと拡大されました。市全域の自然や食などの特性を最大限活用し、どぶろくを市の特産品として地域活性化や農家の所得向上につなげることが期待されています。

(4) 清流長良川の鮎の普及啓発及び農産物のブランド化

平成 27(2015)年に、「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定されたことを記念して、毎年 7 月第4日曜日を「GIAHS 鮎の日」としてイベントを開催しています。引き続き、長良川流域の農林水産物のブランド化や次世代へと継承する取組が必要です。

(5) 田んぼダムの促進及び農地の健全な保全

農地や住宅の浸水被害を軽減するため、田んぼが持つ多面的機能を活用し、田んぼダムの取組を行うことが重要です。これにより、地域で農業が持続的に営まれ、かつ、農地が健全に保たれる効果も期待されています。

(6) 畜産の振興

本市では、乳用牛、肉用牛や豚、鶏などの畜産物が生産されています。市内の畜産の振興を図るため、担い手確保策を強化していく必要があります。



GIAHS 鮎の日 イベント

成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
農業の満足度(アンケート結果)	79.4% (2022)	UP
新規就農者確保数(就農計画認定者数)	16人 (2021)	25人
経営耕地面積	2,400㎡ (2021)	2,200㎡

取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	農産物の生産環境を整備し、健全な農業経営を促進します。	●	<ul style="list-style-type: none"> 農地の有効な利用集積 農地保全の推進 農産物の品質向上とブランド化の推進 農地中間管理機構の活用促進 ◇ 有害鳥獣の農地侵入対策 有害鳥獣の捕獲支援 ◇ 狩猟免許取得及び猟銃所持の支援
	魅力ある農業を推進し、農業の担い手を確保・育成します。	●●	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農者の確保・育成 6次産業化の推進 園芸産地の確立(円空里芋・いちご・なす) 法人化組織の設立支援 既存営農組織の強化支援 ◇ AI・ICT等を活用したスマート農業の実現 ◇ ECサイトやふるさと納税の有効活用
	地産地消を推進するとともに、農業に触れ合える機会を充実します。		<ul style="list-style-type: none"> 安心で安全な農作物の地産地消(学校給食での活用) 農業関係イベントの実施、支援 ◇ どぶろく製造支援
	世界農業遺産を次世代に継承するとともに、農産物のブランド化を推進します。	●●	<ul style="list-style-type: none"> GIAHS 鮎の日(7月第4日曜日)の周知 清流長良川恵みの逸品への産品登録(6次産業化商品)
	農業が継続できる面的整備を実施します。		<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した農業用水路の改修 多面的機能支払交付金事業 ◇ 田んぼダム促進事業 ◇ 土地改良の支援
	畜産業の担い手の確保と生産基盤の強化を行います。		<ul style="list-style-type: none"> 家畜の増頭に必要な畜舎、機械等の整備促進

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

関連計画

- 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想
- 人・農地プラン



めざす姿

○森林が適切に整備、保全され、豊かな森林環境が次世代へと継承されています。

現状・課題

(1) 森林の適切な保全と育成

人口減少や少子高齢化が進み、所有者が不明となっている森林が増加しています。このような所有者不明森林は適切な管理ができなくなるため、未整備となっている森林の管理が課題となっています。また、鳥獣被害が増加しているため、有害鳥獣対策を促進する必要があります。

(2) 担い手の確保

先端技術の活用支援や技術向上のための支援等を通じ、多様な林業人材確保を進める必要があります。

(3) 林業基盤整備の促進

適正な森林保全や木材の有効利用を進めるためには、林道の整備やトンネル・橋りょうなどのインフラ改修が欠かせません。

(4) 森林教育の充実

森林が持つ国土保全や水源かん養、CO₂ 吸収などの公益的な機能を理解し、貴重な森林資源を未来に残すために森林教育と人材育成が必要です。

(5) 国土強靱化への寄与

近年では、気候変動に伴う集中豪雨等が増加しており、洪水等の災害を防ぐため、森林が持つ土壌保全機能を生かした適正な森林整備が必要です。

(6) カーボンニュートラルの実現

2050 ゼロカーボンシティの実現に向け、森林保全の推進や市産材の有効活用が重要です。





間伐作業

成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
林業の満足度(アンケート結果)	80.0% (2022)	UP
間伐面積(1年間で実施する間伐の面積)	507ha (2021)	700ha
林業従業者数	23人 (2021)	25人

取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	森林の適正な整備と保全を行い、多様な森林を造ります。		100年の森林づくり計画(森林配置計画)の策定 森林整備、造林、間伐、植林 森林所有者の相談窓口設置 ○ 新たな森林経営管理制度による未整備人工林の間伐事業 ○ 伐期を迎えた人工林の再造林事業
	林業経営を支援し、担い手を育成します。	● ●	特用林産の育成によるせきブランドの拡充(しいたけ等) 産直住宅建設支援 ○ 林業の担い手確保対策事業(移住及び就業支援) ○ ICT、ドローン等の先端技術の活用、機械化支援
	林道整備など林業基盤の整備を進めます。		トンネル、橋りょうなどの構造物の調査、改修 林道・作業道の整備
	森林に親しむ環境づくりと市産材の積極的な活用を進めます。	● ● ●	関市版森のようちえんやプレーパークの支援 産・学・官連携による木を使用したものづくりの推進 保育園や小中学校などにおける市産材を使用した机の天板・木製製品の導入促進 森林体験学習の実施(植林、間伐体験など)
	健全で災害に強い森林整備を進めます。		治山事業に伴う流末処理施設の整備 ◇ 林地残材及び支障木の撤去・搬出 水源かん養機能強化のための適正な森林整備
	木質バイオマス資源の利用促進及び適切な里山管理を行います。		◇ 間伐材のバイオマス利用促進 ◇ 薪ストーブ導入促進 ◇ 林業安全装備購入支援(チェンソー、防護服など) 市民による木質バイオマス資源の地域内循環促進事業 J-クレジット制度活用に向けた研究

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

関連計画

○関市森林整備計画(2021~2030)